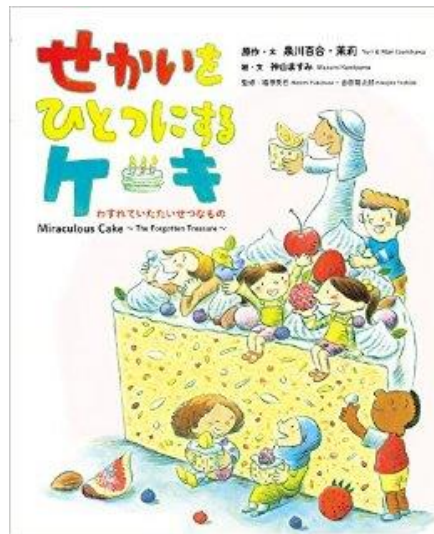


『せかいをひとつにするケーキ -わすれていたたいせつなもの-』

どうしたらおいしいケーキができるかな？



リーブル出版社

『せかいをひとつにするケーキ』

著:泉川 百合・茉莉

著/イラスト:神山 ますみ

絵本のなかでいろいろな国のおともだちが、それぞれ自分の好きな材料を用意しましたね。

あなただったら、何をケーキに入れたいですか？

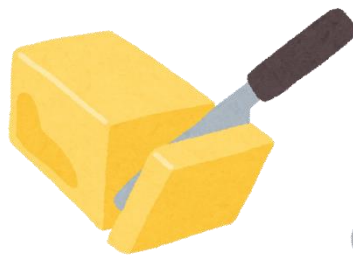
ケーキに入れたいもの（ひとつえらんでかいてね）



おいしいケーキができるためにひつようなものはなんでしたか？おもいだしてみましよう。



ごめんなさいのたまご



ゆるしてあげるのバター



おもいやりのこむぎこ



だいすきだよのさとう

おいしいケーキをつくるためには、たまごやバター、こむぎこ、さとうがひつようなように、

みんなが、なかよくひとつになるためには、おもいやりの心やマナーがたいせつだということが

わかりましたね。みんなも、いつも、おたがいのおもいやりの心や、やさしい心、ゆるりあう心をわすれないようにしましょう。

クルアーンには、こうあります。

يَا أَيُّهَا النَّاسُ إِنَّا خَلَقْنَاكُمْ مِنْ ذَكَرٍ وَأُنْثَىٰ وَجَعَلْنَاكُمْ شُعُوبًا وَقَبَائِلَ لِتَعَارَفُوا
إِنَّ أَكْرَمَكُمْ عِنْدَ اللَّهِ أَتْقَاكُمْ إِنَّ اللَّهَ عَلِيمٌ خَبِيرٌ

人びとよ、われは一人の男と一人の女からあなたがたを創り、種族と部族に分けた。これはあなたがたを、互いに知り合うようにさせるためである。アッラーの御許で最も貴い者は、あなたがたの中最も主を畏れる者である。本当にアッラーは、全知にして凡ゆることに通曉なされる。(49:13)

アッラーはアーダムさまとハウワーさまからすべての人間をおつくりになりました。そして、いろいろな^{くに}や^{みんぞく}民族にわけられました。それは、わたしたちがおたがいから、いろいろなことをまなべるようにです。そして、どの^{くに}の^{ひと}人や^{みんぞく}民族がほかの^{ひと}人より^{うえ}上ということはありません。アッラーのもとで、いちばんいいのは、アッラーのことをおそれる^{ひと}人です。

وَمِنْ آيَاتِهِ خَلْقُ السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضِ وَاخْتِلَافُ أَلْسِنَتِكُمْ وَأَلْوَانِكُمْ
إِنَّ فِي ذَلِكَ لَآيَاتٍ لِّلْعَالَمِينَ

またかれが、諸天と大地を創造なされ、あなたがたの言語と、肌色を様々異なったものとされているのは、かれの印の一つである。本当にその中には、知識ある者への印がある。(30:22)

アッラーは^{てん}天と^ち地をつくれ、わたしたち^{にんげん}人間の^{ことば}言葉や^{はだ}肌の^{いろ}色をいろいろにつくられました。

それをかんがえるとき、わたしたちはアッラーの^{だい}い大さ、すばらしさにきづくことができます。

